

## ずいそう

## Ubuntu

高津知司



Ubuntuはご存じでしょうか？南アフリカのズールー語で「他者への思いやり」や「皆があつての私」という意味があるそうです。南アフリカといえばワールドカップ開催地であり、豊富な地下資源が注目されています。サッカーや地下資源の話ではなく、UbuntuというLinuxのことを独断と偏見でお話しいたします（「ずいそう」なのでご容赦ください）。まず、Linuxの説明をします。Linuxは、コンピュータの基本ソフト（OS）です（厳密にはOSのkernelという部分です）。これは北欧の学生が作り始めたものですが、今では大手IT企業も開発に参画しています。その成果もあり、種々の製品に搭載されています。身近ではネット対応TVや携帯電話用のAndroidがあります。さらに、スーパーコンピュータや証券システム等の大規模システムにもLinuxが搭載されています。Linuxの特徴は概ね次のとおりです。

第一に、無保証（補償）ですが無償で無制限に利用できることです。さらに、ソースが公開されていて改変と（ソース開示を伴う）再配布が可能なので、家電や大規模システムに利用できるのです。

次に、安全性と安定性です。2008年に開催されたセキュリティ関連のコンテストで、有償OSは侵入を許したのに対し、Linuxは侵入を許しませんでした。さらに、設計思想から、不正コードを潜り込ませることもウイルス作成も困難です。また、安定性は家電や証券システム等で実証済みです。

最後に、高速性です。スーパーコンピュータでの採用や、Linuxによる中古PC再生の雑誌特集からも判ります。また、Linuxでは有償Officeと互換の無償Officeが利用できるのです。自治体や企業でのLinux採用事例も報告されています。

UbuntuはLinuxの無償ディストリビューションの一つです。ディストリビューションとは、Linuxとアプリケーション（アプリ）等をひとまとめにして配布する配布形態のことで、数百存在します。概ね、有償Officeと互換の無償Office、インターネットブラウザ、メールクライアント、PDF閲覧、ビデオ鑑賞、写真管理・加工、年賀状作成等のアプリに対応し、平均的(?)な利用者にとってはどのディストリビューションでも大差はないと思います。しかし、私のハード（マニアック?)な要求にUbuntuが一番良く応えてくれ、メイン環境となっています。

まずは、既存OSとの共存です。インストール時に他のディストリビューションより簡単に、既にインストールされているOSとの共存設定（「禁断のマルチブート」とも言われます）が可能です。これは、電子

工作に必要な簡易スペクトラムアナライザが有償OSにしか対応していないからです。また、インストール自体も簡単なことは、初心者にとっては有難いです。入力項目が、使用するユーザー名とパスワードだけで事足りる場合もあります。

次に、論文作成時に必須のLaTeXが簡単にインストールできることです。それに加え、使い慣れた日本語入力機能やLaTeX連携の無償Officeもインストールできるので、論文や講義資料作成にも重宝しています。さらに、Scilabやgnuplot等のツールも問題なく使えます。2万以上の無償アプリを簡単にインストールできることも見逃せません。

第三に半年毎にバージョンアップがあり、最新の環境とアプリが利用できることです。既存OSやその上で走るアプリのバージョンアップは数年間隔であることが多いですが、Linuxではディストリビューションのバージョンアップ時に多くのアプリがバージョンアップされます。一方、2年毎に供給されるLTS(Long Term Support)版には3～5年間のセキュリティ・サポートがあり、同一環境の長期利用も可能です。

最後に、入手できる情報が多いことです。これは、私には必須項目です。専門雑誌が発刊されるほど利用者が多いので、ネット情報も豊富ですし多くの解説本が発刊されています。Linux関係の専門雑誌でも頻繁に取り上げられ、その中にはマニアックな事例も見受けられます。また、ネットワークプログラミングやサーバ構築も簡単です。電子工作用のツール類も十分に揃っており、バルク品のGPS受信モジュールとワンチップマイコンで簡易GPS受信機も製作しました。さらに、ボランティアによる技術サポート（非常に親切です）もあります。

Ubuntuが万人に良いとは思いませんが、「Linuxを導入したい」と相談を受けたらUbuntuを推薦します。雑誌の付録で入手可能、簡単インストール、多くの実績、豊富な情報とアプリ、既存OSと遜色がなく安全・安定等々を鑑みると、自然な選択だと思えます。また、古いPCにUbuntuをインストールして再利用することで、エコにも貢献（財布にも優しい?)できます。

脈絡の無い話になりましたが、要するに「UbuntuでPCを楽しみませんか?」というお誘いです。当然Linuxなので、自己責任での使用ですが、

（個々の商標・ロゴマーク、商号等に関する権利は、個々の権利の所有者に帰属します。）